

令和2年度

生涯学習振興・社会教育職員研修等研修【基礎研修】

# 生涯学習振興・社会教育関係職員の役割

目標：これからの生涯学習振興・社会教育関係職員に求められる役割や職員に必要な基本的な資質・能力について理解する。

ぼれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

# 目次

- 1 コミュニケーションの能力
- 2 学習ニーズの把握と企画立案の能力
- 3 コーディネーター（調整者）としての能力
- 4 【演習】 関係職員の役割

# 1 コミュニケーションの能力

## ①相手の話を促す：受信力

- 「うなずき」・「共感」・「あいづち」など  
傾聴の姿勢

- ・ 「聞いてもらっている」と思えるから安心して話ができる
- ・ 「聞いているよ」というメッセージを伝えることが大切

- 「閉じられた質問」・「開かれた質問」

閉じられた質問 【例】 「元気ですか？」

▶ はい, 元気です。

開かれた質問 【例】 「最近どうですか？」

▶ 実は最近, 腰が悪くてね . . .

## ②相手に話を伝える：発信力

### ● 5W・1Hで話す

- ・ WHO（誰が）、WHERE（どこで）、WHEN（いつ）、WHY（なぜ）、WHAT（何を）、HOW（どのような方法で）

### ●相手の状況を見て、話すタイミングをはかる

- ・相手の「受け入れ態勢」を見極める
- ・「今お話ししてよろしいでしょうか」と、相手の都合を聞く
- ・「~についてお話ししたいのですが、お時間を10分ほどいただけますか」了承を得る

### ●自分を相手に伝える（自己開示）

- ・自分が何を考え感じているのかを相手に伝える
- ・内容、タイミング、応対が大切

## ③お互いに尊重する自己表現 ：アサーション

- 自分も相手も尊重しながら自己表現すること

# 3つのコミュニケーションスタイル



**受け身スタイル**



**攻撃的スタイル**



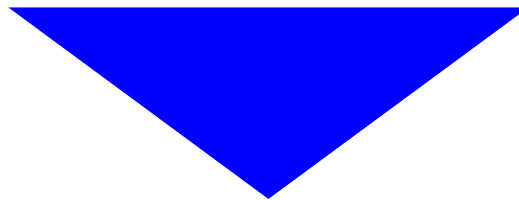
**アサーティブなスタイル**

## アサーティブなスタイル【例】

ある会合の後、「相談があるので、この後少し時間をとってもらえないか？」と地域住民の方に呼び止められました・・・

(しかし、次の予定の時間が迫っている！)

こんな時、あなたならどんな対応をしますか？





# アサーティブなスタイル【例】

「わかりました。  
いいですよ」

受け身スタイル



「忙しいから無理です」

攻撃的スタイル



「今日は予定があって難しい  
ですが・・・○○なら時間が  
ありますがいかがですか？」

アサーティブ  
なスタイル

「困っていらっしやるようですね。  
実はこの後の予定があるのですが、  
変更できるか確認してみますので、  
少し待っていただいてもよろしい  
ですか？」



# 3つのスタイルの異なる点は…



## 受け身スタイル

相手を大切にしているが、自分を大切にしない



## 攻撃的スタイル

自分を大切にしているが、相手を大切にしない



## アサーティブなスタイル

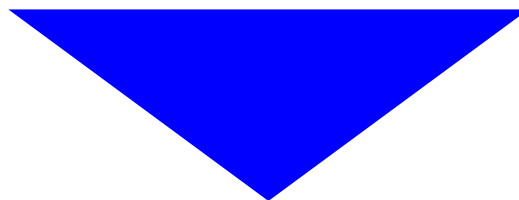
自分も相手も大切にしている

## 【演習シート】

いつも公民館にきてくださる、地域のグループの方がロビーのソファーに座り、大きな声でおしゃべりを楽しまれています。

これから大勢の方が集まる行事が始まるので、できれば退席してもらいたいのですが・・・

**こんな時あなたならどんな対応をしますか？**



# 【演習シート】






(お互いに尊重する自己表現)

アサーティブなスタイルを意識して、  
応対してみましよう！

こちらへ**記入**してください。

# 発表方法

## ⑤反応

 <p>反応</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「拍手」や「賛成」といった意思表示を行うことができます。</li></ul> <p>※一定の時間が経つと自動的に消えます。</p>		
	<p>「拍手」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 拍手をしたいときに押すと表示されます。(音は出ません)</li></ul>		<p>「賛成」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 賛成の意思を表したい時に押すと表示されます。</li></ul>

- ①相手の話を促す：受信力
  - ②相手に話を伝える：発信力
  - ③お互いに尊重する自己表現  
：アサーション
- ▶ 心地よいコミュニケーション

# 2 学習ニーズの把握と 企画立案の能力

準備活動

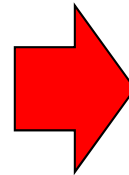
学習目標設定

P 計画

D 実施

C 事業の評価

A 改善・次回計画



- ・地域の現状や特性
- ・学習環境
- ・学習ニーズ

**必要課題**

(社会の要請)

**要求課題**

(個人の要望)



# 必要課題と要求課題

## 必要課題

(社会の要請)

### ● 地域的な課題

人口減少、**少子高齢化**、地域活性（まちづくり）、健康・福祉、絆づくり、家庭・地域の教育力向上、防災・減災、防犯、伝統文化継承、生活環境の改善、地域の担い手（ボランティア）育成…

### ● 現代的な課題

科学技術の高度化、情報化、グローバル化、人権、環境問題、消費者問題、男女共同参画、医療、福祉、子供の体験不足、貧困…

## 要求課題

(個人の要望)

### ● 教養

(英会話、読書、地域の歴史、自然観察…)

### ● 趣味

(茶道、俳句、将棋、音楽、美術、カメラ、パソコン…)

### ● 健康・スポーツ・レクリエーション

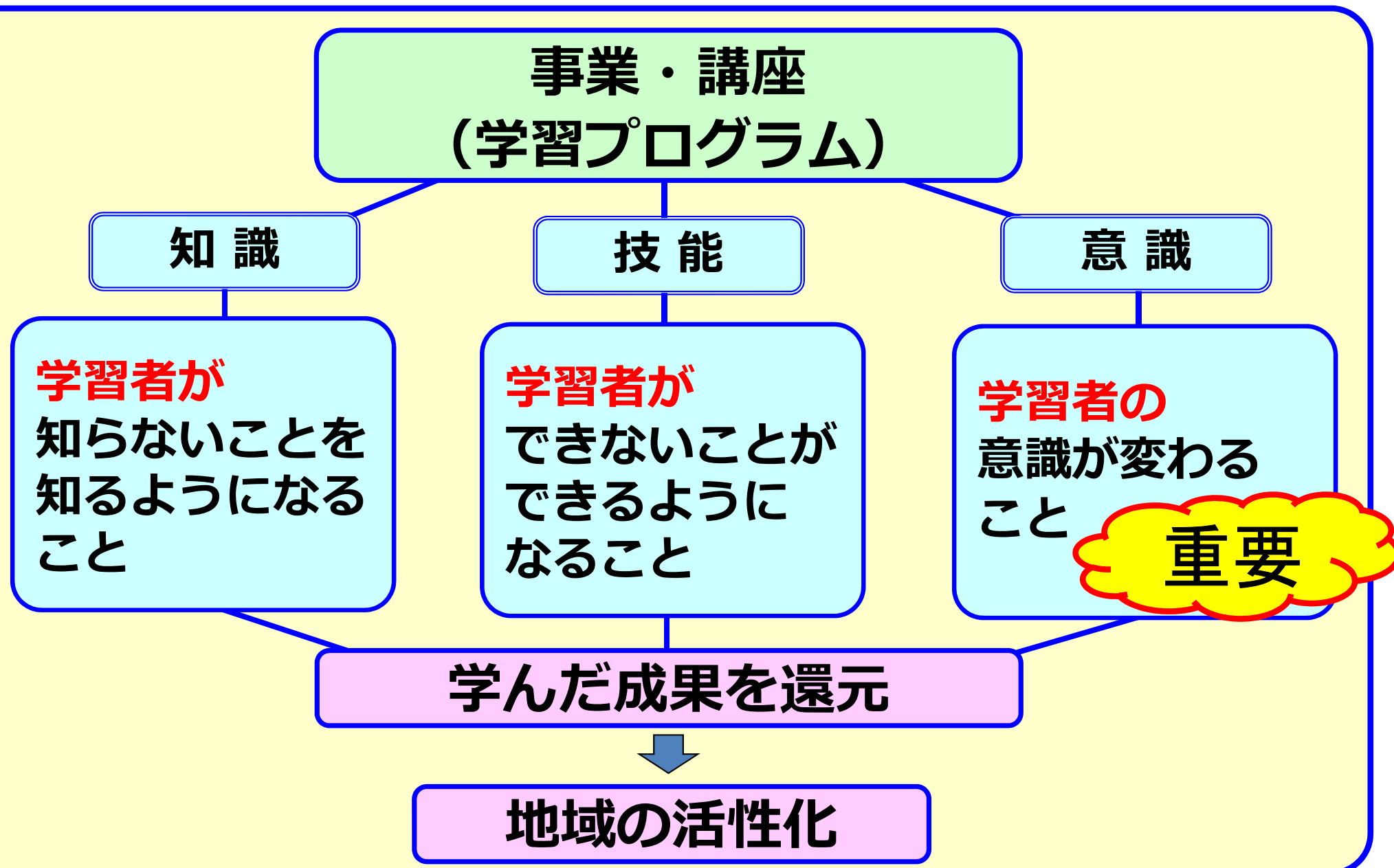
(ハイキング、自然体験、親子キャンプ…)

### ● 家庭教育・生活

(子育て、介護、**料理**、読書、生きがい…)

事業・講座  
(学習プログラム)

# 期待される効果（知識・技能・意識）



# 【参考例】企画分析シート①

## 必要課題 (社会の要請)

- ・ 父親の子育て参加
- ・ 家庭の教育力の向上
- ・ 子供の体験不足

## 要求課題 (個人の要望)

- ・ 子育てに協力したい
- ・ 同世代の子育て仲間がほしい
- ・ 子供と一緒にいろいろなことを体験したい
- ・ 子育ての悩みを相談したい

気軽に  
参加できそう！

事業・講座

# 楽しく子育て「イクメン講座」

# 【参考例】 企画分析シート②

事業・講座

## 楽しく子育て「イクメン講座」

☆この事業・講座に参加することによって、期待される効果（知識・技能の習得、意識の変容等）はありますか。

- ・【知識】 子供と一緒にできる自然体験や読み聞かせについて知る
- ・【技能】 子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応ができるようになる
- ・【意識】 父親として自分なりにできることを考えるようになる
- ・【意識】 子育て仲間と協力しながら、楽しく子育てができるようになる

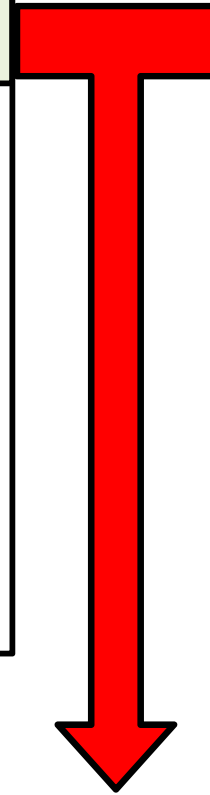
☆この事業・講座をさらに充実させるために、改善できそうなところはあるか。

- ・より参加しやすいように回数や活動場所、内容の見直し
- ・より多くの方に参加してもらえるようにSNSの活用やチラシのなど「広報」の工夫
- ・「イクメン講座」参加者による、イベントへの参加

# 【演習シート】 企画分析シート①

**必要課題**  
(社会の要請)

**要求課題**  
(個人の要望)



**事業・講座**

# 【演習シート】 企画分析シート②

事業・講座

☆この事業・講座に参加することによって、期待される効果（知識・技能の習得、意識の変容等）はありますか。

☆この事業・講座をさらに充実させるために、改善できそうなところはあるですか。

# まとめ

- 「必要課題（社会の要請）」と「要求課題（個人の要望）」のバランス
- 生活地域や対象（年代・職業等）を考慮し地域住民に身に付けてもらいたい「知識」・「技能」・「意識」を検討
- ▶ 「参加してみたい」「参加してよかった」と思ってもらえる事業や講座を企画しましょう！

# 3 コーディネーター (調整役) としての能力



# コーディネーターとは…

**人（機関・団体を含む）と情報，人と人，人と学習資源を適切に結びつける「調整」のこと**

## ▶ マッチングと調整

人々のニーズや要望に応えるよう，人と人，人と学習資源をマッチングさせ，適切な情報を提供する。

【例】 協力者を求めている団体等にそのニーズにあった人を紹介する。

## ▶ 企画設計と調整

事業を企画・設計する際に，人，情報，学習資源を結びつけてデザインする。

【例】 共催事業を行ったりするときに協力団体を結びつけたり，役割分担を行ったりする。

## 学校・家庭・地域の連携

### 教育基本法

第13条 学校，家庭及び地域住民その他の関係者は，教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに，相互の連携及び協力に努めるものとする。

### 社会教育法

#### 第3条

3 国及び地方公共団体は，第1項の任務を行うに当たっては，社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ，学校教育との連携の確保に努め，及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに，学校，家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

## 首長部局・学校・民間・企業等との連携

### ネットワーク型行政の推進

「今後、社会教育行政は、地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われるよう環境を醸成する役割を一層果たしていくことが必要（中略）このため、今こそ、従来の『自前主義』から脱却し、社会教育施設間の連携の強化のみならず、首長部局・大学等・民間団体等と連携して、地域住民も一体となって協働して、『ひらく・つながる・むすぶ』といった機能を様々な領域で発揮する、『社会教育行政の再構築』（ネットワーク型行政の推進）を実施していくことが必要」

# ネットワーク型行政（イメージ図）

生涯学習振興行政

第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（概要）を参考に作成

教育行政

大学

NPO

学校教育

連携

家庭教育支援

連携

支援

連携

支援

社会教育

連携・協働

まちづくり

連携協働

連携協働

民間教育事業者

連携・協働

高齢者

今後の社会教育行政の方向性

企業

男女  
共同参画

青少年

# 社会教育におけるコーディネート視点③

## 人づくり・地域づくり・つながりづくり

### 人づくり

自主的・自発的な学びによる知的欲求の充実, 自己実現・成長

### つながりづくり

住民の相互学習を通じ, つながり意識や住民同士の絆の強化

### 学びと活動の好循環

### 地域づくり

地域に対する愛着や帰属意識, 地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起住民の主体的参画による地域課題解決

# 新たな社会教育の方向性

## 住民の主体的な参加のためのきっかけづくり

社会的に孤立しがちな人々も含め、より多くの住民の主体的な参加を得られるような方策を工夫し強化

## ネットワーク型行政の実質化

社会教育行政担当部局で完結されず、首長、大学、NPO、企業等と幅広く連携、協働

## 地域の学びと活動を活性化 する人材の活躍

学びや活動と参加者をつなぎ、地域の学びと活動を活性化  
する多様な人材の活躍を後押し

## 開かれ、つながる社会教育へ

「より多くの住民の主体的な参加を得て、多様な主体の連携・協働と幅広い人材の支援により行われる社会教育」（開かれ、つながる社会教育）へと進化を図り、個人の幸福な人生と、持続可能な活力ある社会の実現を目指す

# まとめ

- ① 学校・家庭・地域の連携
- ② 首長部局・学校・民間・企業等との連携（ネットワーク型行政）
- ③ 人づくり・地域づくり・つながりづくり

▶ **学びと活動の好循環**

# 4 【演習】 関係職員の役割



**「生涯学習振興・社会教育関係職員として大切だ！」** という順に番号をつけましょう！

- 「ランキング」とは…

物事の**優先順位**を決定する際に用いる「**順位付け**」を行う「**参加型学習**」の手法の一つ。「話し合うことの大切さ」を体感したり、「テーマに対する**情報交換**」をしたりすることができる。

# ランキング方法

- ① **まずは、自分が思う順位を付けましょう！**
- ② **メンバーの意見を聞き取りながら、グループで意見を交流し、グループの順位を決めましょう！**

**順位を付ける際に“ポイント”となったことは何ですか？  
メモしてください。**

# 【演習シート】

## 【生涯学習・社会教育関係職員として大切だと思うこと】

内容	順位
学習課題の把握と企画立案の能力	
コミュニケーションの能力	
学習者の集団の組織化援助能力	
コーディネーター（調整者）としての能力	
幅広い視野と探究心	
プレゼンテーション（企画や発案などをわかりやすく発表する）能力	
交渉（説得）能力	
情報機器の活用能力	
行政における事務処理能力	
各分野の指導に必要な知識や技術	
評価に関する知識や技術	

国立教育政策研究所社会教育実践センター『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業  
「公民館の職員の研修に関する実態調査報告書」』

# 参考までに…

## 【生涯学習・社会教育関係職員として大切だと思うこと】

内容	順位
学習課題の把握と企画立案の能力	1
コミュニケーションの能力	5
学習者の集団の組織化援助能力	6
コーディネーター（調整者）としての能力	2
幅広い視野と探究心	3
プレゼンテーション（企画や発案などをわかりやすく発表する）能力	8
交渉（説得）能力	11
情報機器の活用能力	7
行政における事務処理能力	9
各分野の指導に必要な知識や技術	4
評価に関する知識や技術	10

国立教育政策研究所社会教育実践センター『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業  
「公民館の職員の研修に関する実態調査報告書」』

# 参考までに

## 【職員に今後身につけてもらいたい資質・能力】 トップ5

学習課題の把握と企画立案の能力	1	71.8%
コーディネーター（調整者）としての能力	2	41.2%
幅広い視野と探究心	3	30.2%
各分野の指導に必要な知識や技術	4	24.7%
コミュニケーション能力	5	22.1%

国立教育政策研究所社会教育実践センター『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業  
「公民館の職員の研修に関する実態調査報告書」』

- **今後の業務に生かせそうなこと**

- **関係職員等として大切にしたいこと**

## おわりに

- 社会の変化が激しく、地域や社会の課題が複雑・多様化する中で、関係職員には、「**幅広い視野と探究心**」が求められます。
- どんな地域で、どんな方が、どんな生活をしているのか。どんな学びがその地域に必要なのか。**地域を思い、地域を知る**。住民との信頼関係づくり（対話）を進めましょう。



生涯学習振興・社会教育関係職員は  
人と人、人と学びをつなぐ

“**学びのコーディネーター**”

# 参考資料・文献

- (1) 国立教育政策研究所社会教育実践センター（平成30年）  
『新訂生涯学習概論ハンドブック』
- (2) 社会通信教育協会（平成21年）  
『生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター研修  
テキストⅢ コミュニケーションの仕方の理解』
- (3) 国立教育政策研究所社会教育実践センター  
『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業公民館の職員  
の研修に関する実態調査報告書』
- (4) 中央教育審議会答申（平成30年12月）  
『人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興について』
- (5) 浅井経子『調整者（コーディネーター）としての能力』  
国立教育政策研究所社会教育実践センター  
URL : [https://www.nier.go.jp/jissen/gakusyu/H23\\_enkakusyakai/index.html](https://www.nier.go.jp/jissen/gakusyu/H23_enkakusyakai/index.html)